

# 日本建築学会北海道支部 2010 年度第 5 回常議員会議事録

記録：岡本

日時：平成 23 年 4 月 20 日（火）18:30～19:30

場所：北海道建設会館ビル 9 階中会議室

出席：支部長：角

常議員：大柳、森、谷口、那須、深瀬、稲川、関、真境名、本井、山本、横山、大條、後藤、田村、前田、渡邊、岡本

代議員：平尾、駒木、南出、岡田、菅野、星野

監事：出席無 総務委員会委員長：菊地（優） 構造専門委員会主査：田沼 事務局：菊地

## 配付資料

- |                               |         |
|-------------------------------|---------|
| 1) 前回（2010 年度第 4 回常議員会）議事録(案) | 資料 5-1  |
| 2) 理事会・支部長会議報告（支部長より）         | 資料 5-2  |
| 3) 2010 年度決算報告について            | 資料 5-3- |
| 4) 支部役員選挙結果について               | 資料 5-3- |
| 5) 支部通常総会議案について               | 資料 5-3  |
| 6) 支部災害調査研究の申請について            | 資料 5-4  |
| 7) 委託研究について                   | 資料 5-5  |
| 8) 各委員会委員の委嘱について              | 回覧資料    |
| 9) 後援依頼について（1 件）              | 回覧資料    |
- （社）日本建築家協会北海道支部より「第 3 回 JIA・テスクチャレンジ設計コンペ」

司会：森

## 議事内容

・議事に先立ち、役員の自己紹介・挨拶があった。

### 1 前回（2010 年度第 4 回常議員会）議事録（案）の確認（本井 / 資料 5-1）

・ 6 支部選挙管理委員の 2 委員について誤字の修正を確認し、承認された。

### 2 理事会・支部長会議報告（支部長より）（角 / 資料 5-2）

#### 理事会

- ・ 東日本大震災への対応について多面的な動きが始まっている様子が報告された
- ・ 道内個人会員数が 880、正会員(法人)が 47、賛助会員が 6 と報告された
- ・ 正会員(法人)と賛助会員のうち、支部助成の分類は会費が支部に直接入ることから、可能な範囲で新規開拓・勧誘への取組み実施が望まれた
- ・ 2010 年度退会者(北海道支部分)が 53 名と報告され、可能な範囲で再加入の声かけ実施が望まれた
- ・ 学会賞(業績)に道内で 1 件、2011 年選奨に 1 件それぞれ選出となった旨報告された
- ・ 会費長期滞納者(北海道支部分)が 25 名と報告され、知りうる範囲で納入を促すよう指示があった
- ・ 新法人移行後は一方的な除名は出来なくなり、理事会承認が必要となることが紹介された
- ・ 長期滞納者について、支部長への申し出により保留/退会の対応ができることが周知された
- ・ 学会として東日本大震災の調査復興支援体制を整えること、並びにその組織構成が説明された
- ・ 上記に関して災害調査研究基金の一部(1000 万/約 5800 万)取り崩しが実施される旨報告された
- ・ 災害調査研究基金の使い途について、調査の実施は自己負担を前提としている旨説明があった
- ・ 東日本大震災被災会員への対応を発端に、今回に限らず被災会員への配慮を包括的に検討する方向で動いていることが報告された

- ・学会として東日本大震災への募金活動の実施予定が報告され、免税措置が無い旨補足があった
- ・学会として東日本大震災に対する行動計画が紹介され、会員全体へのパブコメ的な手続きを経て、実施の運びとなる旨報告された。
- ・会長名による被災地への貢献意思表示がすでに発信済みであることが報告された
- ・2012年度大会は、主会場が名古屋大学東山キャンパス、日程が9月12～14日(平日)と報告された
- ・司法支援建築会議規定が変更され、支部に於いて「個人の責任の範囲で活動できる」ことを明示する条項が加わったことが報告された
- ・新任代議員と次点者が紹介され、次期においては1名の選出(総数が64名へ変更)と報告された

### 支部長会議

- ・資料に基づいて説明があり、海外在住会員が関東支部に含まれて代議員定数に影響が出たこと、党支部は特色ある支部活動に定評があること、資料集扱いの支部研究報告集を例に挙げ著作権の取り扱いが懸念されていること、IT環境の活用(電子投稿、情報発信)が引き続き検討事項であることが報告された

## 3 2010年度決算報告について

(菊地/資料5-3- )

- ・2010年度から財産目録が貸借対照表へ取り扱い方の変更があったことが説明された
- ・支出よりも収入が多かったことの説明があり、修正なしで承認された

## 4 支部役員選挙結果について

(森/資料5-3- )

- ・選挙結果により、新任常議員7名、新任代議員3名が選出されたことの報告があった
- ・新任支部監事について、平尾稔幸氏が指名されたことの報告があった
- ・各表記内容について、所属の修正が2件、肩書き/職名の修正が3件、名前の誤植が1名、新任監事の在任期間の修正があり、確認後承認された

## 5 支部通常総会議案について

(森・角/資料5-3 )

- ・支部通常総会議案について、下記2点の加筆・修正をもって承認・確定された。
  - 1)P1 4段落冒頭:「また昨年度は、…」 「また2010年度は、…」
  - 2)P4 北海道における漁業関連建築の歴史的研究委員会の委員会開催数:「5回」 「6回」
  - 3)P32 総務委員会:福島氏の所属「北海道」 「北海道立総合研究機構」、稲川氏の名「務」 「努」
  - 4)P32 ホームページ管理委員会:主査は支部長預かり、委員数を「5名」 「3名」
  - 5)P33 1行目:「山内裕一」 「山之内裕一」
- ・2011年度収支予算案は、新法人移行準備により本部との連結決算になっており既に本部承認済であることが説明された
- ・総会次第が説明され、多数出席いただくよう要請があった

## 6 支部災害調整研究の申請について

(田沼/資料5-4)

- ・申請者は岡田成幸氏(本部災害対策委員)、調査研究結果は学会全体で共有される旨説明があった
- ・調査協力者の集計状況として3～4チームの構成が想定されるとの説明があった
- ・詳細についてはさらに本部との調整が必要である状況が説明された
- ・支部長より、予算全額の充当は難しい状況にあることが指摘された
- ・以上確認し、実施については承認された

## 7 委託研究について

(森/資料5-5)

- ・委員会構成メンバーについて、委託研究でありながら委託側が受託側とともに委員に就いている仕立てに疑問が呈された
- ・表記上は「委託研究」ではなく「共同研究」とする希望は委託者からあったと説明された
- ・支部としては、委託研究に位置付け、委託費の15%を支部会計に繰り入れると報告された
- ・契約形態については本部の顧問弁護士が詳細をチェックする手続きがあることが説明された
- ・委託側と調整し適切な関係に修正することが確認され、研究実施が承認された

## 8 各委員会委員の委嘱について

(回覧資料)

- ・委員構成表にフォーマットの統一が必要と指摘された
- ・専門委員会の委員数上限は十数名と設定されていることが説明された
- ・上限設定は、委員の世代交代促進、外部からのわかりやすさを考慮したものと説明された
- ・以上確認し、承認された

## 9 後援依頼について

(回覧資料)

- ・以下1件承認された  
(社)日本建築家協会北海道支部より「第3回 JIA・テスクチャレンジ設計コンペ」

以上